

人文学部児童学科カリキュラム

児童学科は、幼稚園教諭および小学校教諭の養成を主目的として開設されている学科である。そのため、教員免許状取得に関連する科目を修得することを原則とする。

学科目群は①基礎科目群、②教養科目群、③専門科目群からなっている。

卒業するためには表1のように単位を修得しなければならない。表1にある単位数は卒業に必要な最低単位数である。

表1 児童学科

| 学 科 目 群 | 卒 業 最 低 必 要 単 位 数 | | | | | | 備 考 |
|-----------------------|-------------------|------|--------|----|------|-----|------------------------------|
| | 必修 | 選択必修 | 選択 | 小計 | 自由選択 | 合計 | |
| 基 礎 科 目 群 | 基礎科目 | 6 | | | 14 | | *1留学生の語学科目の履修方法は P.299～305参照 |
| | 英語科目*1 | 4 | | | | | |
| | 第二外国語科目 | | | | | | |
| | スポーツ科目 | | | | | | |
| | キリスト教関連科目 | | 4 | | | | |
| | キャリア教育科目 | | | | | | |
| | 地域学 | | | | | | |
| | サービ斯拉ーニング | | | | | | |
| 教 養 科 目 群 | 人間理解への基盤を学ぶ | | } 8 *2 | 8 | 26 | 124 | *2 2 領域以上 8 単位以上 選択必修 |
| | 社会理解への基盤を学ぶ | | | | | | |
| | 自然理解への基盤を学ぶ | | | | | | |
| 専 門 科 目 群 | 共通基本科目 | 6 | | 46 | 76 | | |
| | 児童文化系統 | 2 | | | | | |
| | 心理学系統 | 5 | | | | | |
| | 教育学系統 | 4 | | | | | |
| | 福祉・教育関連系統 | | | | | | |
| | 教育関連科目 | 9 | | | | | |
| 演習科目 | | 4 | | | | | |
| 合 計 | 36 | 16 | 46 | 98 | 26 | 124 | |

118C

1. 用語の説明

卒業要件＝卒業するために必要な条件

必修＝当該科目の履修が卒業要件となっているもの。

選択必修＝いくつかの授業科目の中から一定単位履修することが卒業要件となっているもの。

選択＝卒業に必要な単位数として数えられるが、「必修」でも「選択必修」でもないもの。

開講期＝春：春学期に開講される科目

秋：秋学期に開講される科目

通年：1年を通じて開講される科目

集中：期間集中で開講される科目

○印：週1回授業

◎印：週2回授業

対象学年＝科目を履修することができる年次が記されている。1年次生では2年次生以上に担当されている科目の履修はできない。2年次生以上は原則として1年次生担当の科目を履修することができる。

人数制限科目＝履修希望者が集中した科目について、人数制限をする。

ステップアップ＝ローマ数字が記載されている科目は、ステップアップ科目と呼び、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に履修しなければならない。

2. 科目ナンバリング

本学では「**科目ナンバリング**」を導入している。

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や履修順序、科目間の連携等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことで、学生が科目の水準や専門性に応じて、適切な授業科目を選択する際の助けとなる。

ナンバリングは「**科目分類（略称）**」、「**学科コード**」、「**段階を表す番号**」の**組み合わせ**で表記される。

(例) **ECON-P-100**

番号…科目の段階 [100番台：入門, 200番台：中級, 300番台：専門, 400番台：専門上級, 500番台：大学院] (P. 18参照)

学科コード…政治経済：P, 欧米文化：A, 日本文化：J, 児童：C, 心理福祉：S, こども心理：D, 人間福祉：W, その他：0

科目分類…科目分類の略称

(例) ECON：ECONOMICS（経済学）の略 (P. 17・18参照)

科目ナンバリングは、学生要覧カリキュラム表やシラバスに記載されている。

3. 各学期において履修できる単位数は、25単位を上限とする。

ただし、幼稚園・小学校・特別支援学校の教職課程、保育士資格課程に学ぶ学生については、別途定める。

また、認定科目は上限単位に含まれない。

4. 自由選択科目について

卒業に必要な最低単位数124単位から、基礎科目群の最低単位数14単位、教養科目群の最低単位数8単位および専門科目群の最低単位数76単位を除いた26単位は、基礎科目群、教養科目群、専門科目群のいずれから履修してもよい。

5. 科目によってはクラス指定があるので、確認の上履修すること。